



株式会社Geolocation Technology

位置情報 × AIで、予測精度に革命を。

SURFPOINT AI Expansion



証券コード：4018

ChatGPTの登場により、AIのビジネスの利用が一気に広まりました。
しかし「汎用的なAI」では現場のさまざまな課題に対して最適な答えを出すことは不可能です。

課題を解くのは、状況、分野に応じた“最適なAI”が必要。
最適なAIを構築できるかどうか、今後の成長の鍵となります。
どんなに優れたAIも、「ユーザの背景」を知らなければ正確な判断はできません。
その“背景”の一つが「場所」——
ユーザーが“どこから”アクセスし、“どのような環境”にいるかという情報です。

Geolocation Technologyでは、IP Geolocation データベース SURFPOINT を利用することで、AI開発の一助となる **SURFPOINT AI Expansion** を提供しています。

教師データの質が、AIの性能を決める。

正確な学習データがなければ、AIは正しく動かない

- AIは、与えられたデータのパターンを忠実に再現するだけ
 - 特に分類・予測タスクでは、ラベルの間違いや情報の欠落が、誤った出力の直接的な原因になる
- 不完全なデータを与えれば、モデルはそのまま間違ったルールを学習する



AIは想像で補完することはできません。正しい出力には、正しい入力が必要です。

SURFPOINT™

インターネット上の**すべてのIPv4 IPv6をカバー**する
IP Geolocation & IP Intelligenceデータベース

IPv4

210.251.250.30

IPv6

2001:298:4122::1



ログを渡すだけ。
SURFPOINT™ が**自動で特徴量を付与**

STEP 01

ログを提供

IPアドレスを含むアクセスログ
(CSV/JSON/ログ形式など)

STEP 02

SURFPOINT 解析・特徴量付加 処理

IP解析、通信環境の推定、
地理情報・時間帯・行動情報など
の特徴量を自動生成

STEP 03

構造化データを納品

CSV/JSON/API経由でご提供

IPアドレスを起点に、ログを機械学習で使える**構造化特徴量セット**に変換します。
特徴量設計・前処理の工数を削減し、PoCやモデル開発を加速させます。

SURFPOINT™

AI Expansion

SURFPOINT™が
自動生成する構造化特徴量

IPアドレスとアクセスログをもとに、
AI／機械学習モデルで使える構造化特徴量を自動生成します。

地理情報	都道府県、市区町村、国、緯度経度グリッド（メッシュ）
時間情報	アクセス日時、時間帯（朝/昼/夜）、曜日、祝日フラグ
通信属性	回線種別（光/ADSL/モバイル）、企業/ISP分類、VPN判定
行動傾向	滞在時間、再訪有無、参照元タイプ（直接/検索/SNS）
環境情報	OS、ブラウザ、デバイス種別（スマホ/PC/タブレット）

ログに埋もれた情報を抽出し、分類・予測・クラスタリングなどの
AI／機械学習タスクでそのまま活用できます。

さまざまなログに対応。既存資産がそのまま使える。

Webサーバーログ	Apache、Nginx、IIS など
アプリログ	スマホアプリ、業務用SaaSの利用記録
APIアクセスログ	REST APIのリクエストログ、Webhook等
マーケティングデータ	購入履歴、課金データなど
セキュリティログ	WAF、CDN（Cloudflare等）、IDS/IPSログ
社内ネットワーク	ローカルプロキシ、ゲートウェイ記録など

IPアドレスが含まれていれば適用可能。

CDNやWAF経由のログにも対応しており、既存の仕組みを変更せず導入可能。

ログに“意味のある特徴量”を与え、AI／機械学習モデルの開発・精度向上・分析支援を加速します。



教師データ生成

「平日昼 × 企業アクセス × 超滞在」などの
条件付き特徴量の自動生成
モデルの入力変数（特徴量）としてそのまま活用可能



異常検知

通常パターンとの差分検出
例：深夜 × 固定IP × 短時間 × 高頻度 → Bot判定
VPN利用などの特徴も判断軸として追加可能



時系列分析・トレンド検出

曜日／時間帯／地域ごとの再訪や流入パターンを検出例：特定地域 × 平日夜の再訪増
→ キャンペーン成功の兆候



セグメント分類／クラスタリング

行動パターン × 通信属性 × 地理的要素の組み合わせで精度向上
「誰が・いつ・どこから・何をしているか」を
構造化して分析



LTV予測・営業支援AI

- 「時間 × 地域 × 再訪 × リファラ」から、
見込み顧客の価値スコアを算出
- 営業リスト作成やターゲティングの自動化に貢献

「再訪傾向 × 通信種別 × 時間帯」などの特徴量から
価値の高い顧客群をモデルで可視化・予測

STEP 01

ログ データ

STEP 02

SURFPOINT™
処理

STEP 03

構造化データ

STEP 04

LTV
予測モデル

STEP 05

可視化・
スコアリング

どんなユーザーがどれだけ
価値を生むか？



特徴量の意義

LTV（顧客生涯価値）に関する行動パターンを明らかに



ビジネス活用

アップセル・クロスセル、継続率予測、ターゲティング施策に活用



分析軸の例

再訪時間／地域／デバイス などの多変量分析



対象業種

SaaS／EC／アプリ課金モデル等

データ整備の“面倒”を、SURFPOINT™ が解決



ラベリング工数の削減

手作業でのIP属性判定・時間帯分類が不要。SURFPOINT™が自動で特徴量を付加。



前処理ステップの簡略化

ログの整形・属性変換などの前処理工程が軽減され、AIモデル開発に集中できる。



多面的な特徴量の確保

地理・通信・時間など複数の観点から特徴量を得られ、分析の柔軟性が向上する。

AIモデルの開発スピード × 精度向上を、データ整備の側から支援できるのが

SURFPOINT™ AI Expansionです。

外部データとの連携で、分析の深度と解像度を向上

外部データと組み合わせて分析することで、SURFPOINT™ラベルを拡張。
さらに高精度なモデル設計や発見的な分析を実現できます。



素のログ

+



外部データ

+

SURFPOINT™

SURFPOINT™ラベル



多次元
特徴量付与
済みデータ
セット



連携可能な外部データ例

- 人口統計・企業属性・商圈データ（国勢調査・RESAS等）
- 気象・イベント・交通量（気象庁・オープンデータAPI）
- 地域別LTV・購買力指数（パートナー企業との連携）
- カレンダー属性（祝日／営業日／時差）

活用例

- 「企業IP×天気×曜日」の条件でLTV予測を最適化
- 「回線種別×地域属性」による広告配信リスクスコア設計
- 「アクセス頻度×交通量×位置」で立地分析・需要予測

汎用的なAIで解決できない課題に対して、**分野に特化した最適AI**がまとめられている。

IP Geolocation データベース SURFPOINTで**ユーザの背景**を知ることができる。

異常検知、LTV予測、クラスタリングなどさまざまな分析を支援します。

SURFPOINT AI Expansion で効果的に高精度なAIを開発ができる環境を作り上げていきます。



株式会社Geolocation Technology

位置情報 × AIで、予測精度に革命を。

SURFPOINT AI Expansion



証券コード：4018